



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「ともに光の中を歩もう」	“Let Us Walk in the Light -Together.”
アジア地域会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」	“Respect Y' s Movement”
西日本区理事主題	「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」 “Healthy mind & healthy body make healthy club”	
中部部長主題	「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」	
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」	

2017 10 月間強調 BF EF

今月の聖句(担当 数澤 輝夫君)

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。
 だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。
 あなたがたは、鳥よりも価値のあるものではないか。
 マタイによる福音書 6章 26

10月強調月間

国際組織の一員であることを再認識し、BF/EFの目的を理解しましょう
 金澤市郎国際・交流事業主任
 (京都クラブ)

10月例会プログラム

とき	2017年10月19日(Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000(会員は無料) ¥2,000(メ nett)
司会	西 信之 君
開会・点鐘	幸正一誠 会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
ハッピーバースデー	幸正一誠 会長
ゲスト紹介	清水 淳 君
食前の感謝	山本達也 君
スピーチ	清水 淳 君
	“YMCAのブランディングについて”
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	山本浩一郎 君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	幸正一誠 会長

9月 クラブ活動状況

第1例会 (9月21日 Thu.)	
メ ン:	朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水 西、山内、山本(浩)、山本(達) (10名)
出席率:	100 %
メネット:	伊藤、数澤、澁谷、朝倉(秀) (4名)
ゲスト:	松田章一氏 (1名)
第2例会 (9月1日 Fri.)	
メ ン:	伊藤、数澤、澁谷、西、山内、山本(浩) (6名)
メネット:	数澤 (1名)
ニコニコタイム	13,000円
クラブファンド 累計	304,000円
BFポイント	
切手	0g 累計 950g
現金	0円 累計 0円

会 長	幸正一誠	書 記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
直前会長	西 信之	メ nett会長	山本典子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

中部部会・70周年記念式典に伴う城庭ツアー

西 信之

9月18日は敬老の日であったが、未明に台風18号が敦賀から金沢の南をあっという間に通過し、富山湾の南から日本海に抜け、金沢に居た我々には何事も無かったかのような朝であった。金沢は、この17年間に急速な変化を遂げ、金沢城の建物や庭も次々と復元され、多くの観光客で賑わうようになった。

前日から金沢に宿泊された参加者にこの新しいお城と兼六園を紹介し、改めて金沢の歴史と文化を実感して頂くことを企画した。西日本区の役員の皆様や神戸、福岡、米子、芦屋、西宮、大阪、京都、名古屋、東京などから16名の参加者があった。

金沢ニューグランドホテルのロビーに集合し、9時に出発、明治7年にオランダ人ホルトマンによって設計された尾山神社の山門をくぐり、本殿、赤母衣をまとった前田利家騎馬像を見学し、金沢城二の丸から移設された桃山風東神門をくぐり、発掘中の鼠多門跡を見ながら、玉泉院丸庭園の休憩所に入った。

玉泉院丸庭園は三代藩主利常が京都の庭師剣左衛門を招き作られたが、五代綱紀が千宗室に作庭を申し付けて改良が施され高低差を持つ城の借景を利用した、大名庭園としては最高級と言える日本庭園である。この壮観な佇まいは参加者を驚かせた。滝のあったカラフルな石垣の側を登って二の丸に着き、前に広がる菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓の見事な建物列の景色を堪能した後、橋爪門をくぐって三の丸広場を通り石川門から出城、石川橋を渡って兼六園に至った。

入口付近に並ぶ茶店群の始めは、徳川秀忠の娘・珠姫の輿入れに伴い、江戸から付いて来たお供の為の長屋群からなる江戸町が発祥である。これは、珠姫の死去に伴い取り壊され、五代綱紀の別荘として現在の蓮池門からその南にある瓢池を中心とした「蓮池庭」が作られた。見学は、ここから始める予定であったが、桂坂券売所が思いの外空いていたので桂坂から入り、霞が池の徽軫灯籠と曲水の美を眺め、眺望台、唐崎松、根上松、花見橋、栄螺山の南側を散策して瓢池に至った。翠滝を感賞して、噴水の側でしばし休憩した後、水の流れが気持ちの良い白鳥路をゆっくりと歩き、KKRホテル金沢の大手堀が美しいアイビスで和食のランチを頂いた。

2時間30分の徒歩見学であったが、皆さん足も軽やかに前田藩の歴史と文化、そして美しい緑と水の流れを堪能された。



【9月例会の報告】

わが金沢クラブではこの例会は「メネットアワー」として、ゲストスピーカーの依頼から例会当日のプログラムまでのすべてをメネットが担当することになっています。今回は元金大附属高校校長の松田章一先生をお迎えしました。先生はふるさと異人館の館長、鈴木大拙館館長を歴任されました。劇作家としては数々の著書があり、「島清、世に敗れたり」で1983年文化庁舞台芸術創作奨励特別賞を受賞され、戯曲集「和菓子屋包匠」他で1997年泉鏡花金沢市民文学賞を受賞されています。今回は「ことばの哀しみ」というタイトルでスピーチをしていただきました。題名から文学的なお話を想像していましたが、内容はとても深い哲学的なお話でした。哲学には漠然とした憧れは持っていますが、普段からあまり物事を深く考える習慣がない私には「自分の存在について」、また「人との関係」にはことばの介在が重要な意味を持つことに深く思い

を馳せることができました。私がどこまで正確に内容を理解し得たかはともかくとして、終始にこやかで生徒に教えるような先生の優しい口調に引き込まれて、とても心地良く拝聴いたしました。ここに概要を記します。



「ことばは人と人をつなぐ重要な道具」であり、特に日本語ほどこまやかな表現を持つことばは他にはないそうです。人と人を繋ぐのはことばですが、離別させるのもことばです。そこにことばを持ったがための哀しみがあるというのです。私たちはことばによって左右されて生きているのです。赤ちゃんはことばを持たないが、体で表現する能力を持っています。赤ちゃんの泣き声は世界共通ですが、成長するにつれ、それぞれの国のことばを習得して段々人間らしく、ことばを持つ存在になっていくのです。ことばを獲得していく段階において、最初は「もの」から「ことば」を覚えていくのであり、決して「ことば」からものを認識することはありません。しかし大人になると、実体を知らなくてもことばを通じて実体を知る能力が人間には備わっていて、「ことば」から実体を想像して知ることができるようになるのだと、解りやすく身近な例をいくつか挙げて説いて下さいました。さらに心の問題を考えると、相手に通じたと思っても、実際には思い込みがあり、通じていないことがあります。そこに「ことばの哀しさ」があるというのです。自分勝手な解釈の世界に生きているのが「私」という存在ですが、ことばによって縛られているのも人間なのです。私たちは倫理や道徳（他人が作ったもの）に縛られています。そして強いものに縛られたいという願望もあるのです。縛られていることが楽なのです。人間とはなんとめんどくさい生き物なのでしょう。本来の感覚の違いから、自分と人との違いを見つけた時、誤解が生じたときの哀しみは大きいのです。つまり一人ひとりの感じ方がちがうので、一致したと思うのは錯覚であり、一致させようとするのが難しいのです。その間をどう縮めるかがさらに難しいのです。

自分の感性で生きるしかないが、相手の感性を尊重することが必要なのです。そして自分の限界を知り、それを詫げるしかないというのです。最後に自分の存在は無限の存在であるということ鈴木大拙のことばを引用されて「自然（じねん）」ということばは「おのずから存在している」ということで、命は連綿とつながっているのだと話されました。他にも多くの示唆に富んだお話しをお聴きしましたが、よく本質を見て生きていくことが大切なのだと言われました。ことばは便利で自由でことばのない世界は考えられませんが、ことばを沢山持ったがための哀しみについて深く考えることができました。（数澤淑子記）



~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆部長公式訪問

名古屋クラブ

日時：10月10日(火)19:00~20:30

場所：名古屋YMCA

随員：伊藤、数澤

☆びわこ部会

日時：11月5日(日)13:00~17:00

場所：ウッディパル余呉

特別企画：米原駅からSF

☆第2回中部評議会

日時：11月18日(土)13:30~15:00

場所：湯涌温泉 お宿やました

参加：山内部長、西書記、伊藤会計、数澤事務局長
幸正会長、数澤メネット主査
その他中部会長・主査等

Happy Birthday

山本 達也君 11月17日

伊藤 悦子さん 11月15日

本物と造られたもの



去る9月17～18日の中部部会並びに金沢クラブ70周年記念会は何事もなく無事予定通り終わることができ皆さん大変ご苦労様でした。感謝いたします。

さて、このころ「AI」などと言う言葉がマスコミ等に盛んに躍り出ていますが、私なんかはスマホかそんなものの類だろうと思いきやあまり注意してみませんでした。ある時、将棋だったと思いましたがコンピューターと人間が勝負したらコンピューターが勝ったというニュースが流れてきました。この頃あまりマスコミに出てきませんが中学生の天才棋士のことが話題になりましたが、コンピューターが勝つか負けるかわかりませんがどうもそのようなコンピューターを「AI」と称するのだとわかりました。日本語で「人工頭脳」と称するのだそうです。何故最初から人工頭脳と日本語で言わないのか少々腹が立ちます。どうも日本人はカタカナが好きなようです。本当に好きなら略さないで正式に外国語で書くべきだと思います。生まれた時から日本語で育ち日本語が母国語です。どうしても外国語で表記したいのなら人工頭脳(AI)と表示すべきで外国語に馴染まない者でも理解し易いのではないかと思います。

横道にそれましたが、もっと心配なのが人口頭脳が進化していくと人間らしく生きることができなくなるのではないかと想像し、古いギャグにありましたが夜も寝むれないくらいです。しかし、いくら進化しても人間を超えることは絶対できません。人間は感情を持っている唯一の動物です。いくら人工頭脳を持つロボットでも喜怒哀楽を表現することは不可能だと思います。いろいろ理由はありますが、単純に考えても人口頭脳を作るのは人間だからです。一時期クローン人間とかiPS細胞云々とか人間の手で同じものを再生することが話題になっております。いずれも人間が作ったものであり本物ではなく自然と言う本物を造ることはできません。近づけることはできても所詮、偽もので何といても万物は神によって作られたものですので益してや人間が人間を造ることなどは不可能です。これ以上述べると私自身が混乱してきて先月のゲストスピーカーの方の禅問答的になりそうなのと、もしかするとこのような考えも偽ものかもしれませんので終わりにいたします。

取りとめの無いことを羅列いたしました。要するに私が言いたいのは自然を畏れないで人間は生きてい

くことはできないのではないかとということです。頭脳が混乱するような余計なことを考えないで単純にみんなですべてに楽しく余生を送りたいと思っている歳頃になっている私です。(伊藤 悦子 記)

《第21回中部合同メネット会のお知らせ》

去る9月18日に「第21回中部部会&金沢クラブ創立70周年記念式典」を無事終えてホッと安堵しているところですが、「中部合同メネット会」が下記のように開催されます。ホストクラブとして、遠くからご参加下さるみなさまに楽しんで頂けるようにみんなで力を合わせて準備しましょう。

記

とき：11月18日(土) 15:30～19日(日) 10:00

会場：湯涌温泉「お宿やました」

金沢市湯涌町イ 165-1

参加費：16,000円(1泊2食)

プログラム等は第二報をご覧ください。

数澤淑子(中部主査)

《芋煮会のお知らせ》

3連休の真ん中ですが、ご予約に入れておいてください。

日時：11月4日(土・祝) 10:30～14:00

(雨天決行)

場所：内川スポーツ広場

会費：500円

YMCAの少年会員は無料(ご招待)

持ち物：お椀、箸、敷物

11月の担当

聖句担当：幸正 一誠君

ブリテン執筆：伊藤 仁信君

澁谷 節子さん